

トピックス

海外でのノロウイルス(NV) 感染症の流行

ノロウイルス(NV)等によると考えられる **冬季の感染性胃腸炎** 流行は峠を越したようですが、未だ多数発生しています。このノロウイルスは、平成14年第50週報(12月第2週)でお知らせしたように従来は食中毒の原因物質と考えられていましたが、平成13年にはイギリスで病院内感染が大流行し、その原因として空気感染や接触感染が考えられました。そこで、流行拡大を防止する為に複数の病院では病棟が閉鎖されたほどです。さらに昨年は、米国でNVによる感染性腸炎の流行がデイズニー・マジック号を含む豪華客船(クルーズ船)で次々と発生し、患者総数1,200名を越すなど、社会的にも大きな注目を集めました。米国疾病管理センター(CDC)の勧告に従った消毒の後も患者発生が続くなど、その原因は完全に究明されていませんが、空気感染を含む人からの感染、ドアの取っ手等を介した感染も考えられるとして、ウガイや手洗いの励行が感染予防に重要だと指摘されています。インフルエンザのシーズンでもあり、普段からうがい、手洗いの励行を習慣付けようとしてください。



流行状況

インフルエンザ *12月26日付でインフルエンザ注意報を発表しました。

定点当たりの報告数は6.04(前週2.60)と**更に増加**

インフルエンザの予防には**ワクチンの接種**が有効です。一般に、ワクチンを接種しておくこと、たとえインフルエンザを発症しても、軽症で経過することが期待できます。ただし、ワクチンの十分な効果を得るためには、早目に接種されることをお勧めします。

厚生労働省インフルエンザ対策キャンペーンホームページ

インフルエンザQ&A、キャンペーンポスターなどがダウンロードできます。

<http://influenza-mhlw.sfc.wide.ad.jp/>



感染性胃腸炎

定点当たりの報告数は 7.5 (前週 11.2) とやや減少

水痘 (みずぼうそう)

定点当たりの報告数は 3.24 (前週 2.37) と同程度に推移

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症

定点当たりの報告数は 0.87 (前週 1.11) とやや減少

マイコプラズマ肺炎 *マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎

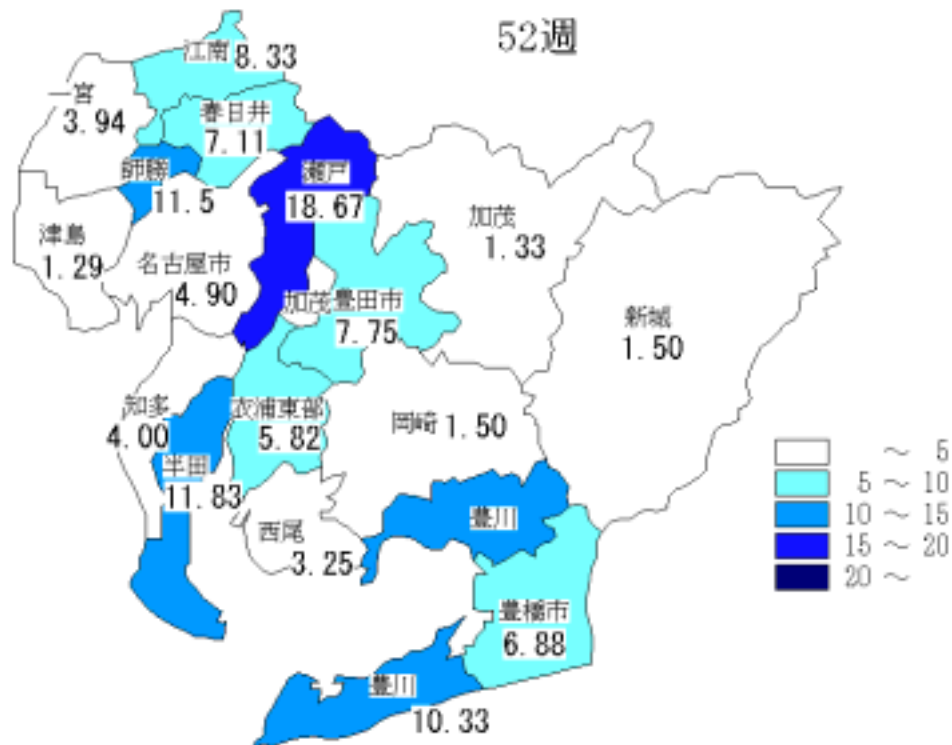
基幹定点から 2 例の患者報告あり。

4 定点からコメントでの患者発生報告あり。

感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

インフルエンザの保健所別定点当たり報告数(名古屋市含む)



インフルエンザの流行発生注意報は定点当たり 10.0 を越えた場合に発生します。

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌 O1 1歳女、2歳男、5歳男、22歳女、24歳女

病原性大腸菌 O8 4歳男

病原性大腸菌 O18 3歳男、5歳男

病原性大腸菌 O25 6歳女、7歳女、8歳男

インフルエンザ急増

(尾西市 城後小児科)

2歳女 インフルエンザ A 型、インフルエンザ A・B クイック^{*1}(生研)で A 型(陽性) < 受診されない他 4 人も症状よりインフルエンザ >

(一宮市 後藤小児科医院)

*1 インフルエンザ A・B クイック: インフルエンザ迅速診断キット
この冬はじめてのインフルエンザ 7 人あり(うち 2 人は母親) A 型です。
感染症腸炎あいかかわらず多いです。

(一宮市 あさのこどもクリニック)

2 名共に A 型

(一宮市 医療法人かすがい内科)

インフルエンザ 4 名はすべてキャピリア^{*2}FluA・B で A 型陽性でした。

(立田村 医療法人谷本医院)

*2 キャピリア: インフルエンザ迅速診断キット

インフルエンザが増加してきました。

(5 名 インフル A・B クイックで A 型が陽性でした。)

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

インフルエンザ A 型 続発中 28care

水痘多発しています。

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

11 ヶ月女、4 歳女、8 歳女の 3 人 マイコプラズマ肺炎。その内 2 人は保育園の同じクラスです。

嘔吐下痢を伴った胃腸かぜがまだ続いて居ります。

(春日町 丹羽医院)

A 型インフルエンザ 8 歳男、15 歳男、34 歳男、42 歳男、53 歳男、
25 歳女 2 人、38 歳女、53 歳女、57 歳女

(師勝町 田中クリニック)

マイコプラズマ 6 歳女

(師勝町 医療法人師勝クリニック)

尾張東部地区

水痘多くみられます。

A型インフルエンザは増加の傾向にあります。2歳男、ワクチン接種済でした。

アデノウイルス感染による扁桃炎もみられます。

(瀬戸市 津田こどもクリニック)

インフルエンザ1日1~2名程度。B型が1名以外全てA型でした。

嘔吐、下痢まだみられます。

マイコプラズマ感染症相変わらずみられています。

その他水痘、溶連菌感染症、流行性耳下腺炎散発

(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)

アデノウイルス感染症ふえています。

(尾張旭市 旭労災病院)

A型インフルエンザ11例ありました。その内4例はワクチン接種済み。

溶連菌感染症増えています。胃腸かぜ減少。

水痘あります。

(春日井市 朝宮こどもクリニック)

今週も水痘がみられました。水痘ワクチン未接種でした。

(春日井市 かちがわ北病院)

インフルエンザはすべてAのようです。

(小牧市 志水こどもクリニック)

インフルエンザ(A)、腸炎あるも、数名と流行は無い。

胃腸炎(ウイルス)も減少している。

(小牧市 小牧市民病院)

RS(-) 1ヵ月、9ヵ月

(東海市 東海市民病院)

<月報コメント STD>

年輩の患者さんはしっかり取り組まれますが、若い人は治療中止が多く心配です。

(東郷町 医療法人バク諸輪診療所)

西三河地区

病原大腸菌O1 2ヵ月女

(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)

A型インフルエンザ流行

(豊田市 医療法人やふそ小児科)

FluA 予防接種済でも発症している。

(岡崎市 岡崎市民病院)

インフルエンザA型 1歳男、32歳女は親子

4歳男 カンピロバクター+病原性大腸菌O1

(岡崎市 医療法人深田小児科)

A型インフルエンザ(キャピリアFluA・B) 13歳男、24歳女

2歳男 病原性大腸菌O18、VT(-)

4歳女 病原性大腸菌O25、VT(-)

(岡崎市 にいのみ小児科)

4歳男 病原性大腸菌O1、VT(-)

(幸田町 とみた小児科)

当院で今シーズン初めてのインフルエンザ検査陽性者です。キャピリア A 陽性 3 名 (27 歳女、37 歳女、43 歳女)

(岡崎市 粟屋医院)

まだ水痘が流行中
インフルエンザはありません。

(刈谷市 まついこどもクリニック)

A 型インフルエンザ出始めています。(2 名で熱性けいれんを併発)

(碧南市 永井小児クリニック)

インフルエンザ A 型が出始めました。
感染性胃腸炎が多いです。

(三好町 三好町立三好病院)

東三河地区

インフルエンザ感染者が増えつつあります。

(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)

水痘の患者さんが相変わらず多く見られます。

(豊橋市 あずまだこどもクリニック)

マイコプラズマ肺炎 4 歳男

インフルエンザ急増 (A 型 11 名、B 型 1 名)

(豊橋市 野村小児科)

冬休みに入り、インフルエンザは減少傾向です。

(田原町 かわせ小児科)

< 51 週コメント >

ワクチン 2 回接種済の児にインフルエンザ A 型あり。

(田原町 かわせ小児科)

1～3 類感染症の発生状況 (愛知県)

発生報告なし

全数把握の 4 類感染症の発生状況 (愛知県)

レジオネラ症 1 例

第 50 週(14 年 12 月 9 日～12 月 15 日)の 4 類感染症 (全国)

定点把握の対象となる 4 類感染症 (週報対象のもの)

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 49 週に比べ減少したが、過去 5 年間の同時期に比べやや多くなっている。都道府県別では引き続き、秋田県(2.7)、佐賀県(1.0)からの報告が多い。他の疾患の定点当たり報告数は、過去 5 年間の同時期と比べて多くはないが、インフルエンザは定点当たり報告数が 1.65 と増加し、流行シーズンに入った(「注目すべき感染症」を参照)。特に福岡県(9.8)、佐賀県(4.5)、広島県(4.2)、大分県(3.5)を始め、西日本で定点当たり報告数が多く、18 の都道府県で 1.0 を超えた。水痘の定点当たり報告数は再び大きく増加した。都道府県別では、福井県(7.1)からの報告数がさらに増加した。麻疹(成人麻疹を除く)は 46 週から微増を続けており、福島県(0.7)、宮崎県(0.5)、青森県(0.3)の 3 県からの報告が半数を占めた。伝染性紅斑は北海道(1.0)に報告数の 2 割が集中している。百日咳は栃木県(第 45～49 週は報告なし、第 50 週は 0.2)からの報告が急増した。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は依然として年末のピークにあり、富山県(3.6)を始め、14 都道府県で定点当たり報告数が 2.0 以上であった。感染性胃腸炎の定点当たり報告数(11.0)は 11 週間ぶりに減少した。和歌山県(20.7)を始め約 6 割の都道府県で、引き続き定点当たり報告数が 10 を超えている。流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎は全国的には減少しているが、前者は秋田県(3.3)、鳥取県(3.3)、岩手県(3.1)で、後者は宮崎県(5.8)、高知県(4.0)で定点当たり報告数が多い。細菌性髄膜炎(0.02)とマイコプラズマ肺炎(0.24)の定点当たり報告数は共に減少したが、前者は 1999 年から 2001 年までの 3 年間の平均の 2 倍以上あり、後者では青森県(1.7)からの報告が他県の 2 倍以上あった。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホ - ムペ - ジ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県感染症情報

2002年第1週～第52週(平成13年12月31日～平成14年12月29日)(累計)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹	
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																						
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	37,632	572	7,399	41,415	13,260	7,106	2,319	6,584	85	118	6,743	2,163	8,045	33	1,036	4	15	98	119	1	22	
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	29,395	401	5,226	28,339	10,280	4,925	1,824	5,073	62	80	5,677	1,714	6,565	22	748	4	15	98	119	1	22	
名古屋	70	70	11	14	1	8,237	171	2,173	13,076	2,980	2,181	495	1,511	23	38	1,066	449	1,480	11	288							
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,569	55	733	1,833	638	503	60	284	2	7	205	80	531	5	45		1	34			
海部	津島	7	7	2	2	1	1,240	16	123	1,805	550	319	119	198	1	7	380	80	310	1	39		2		7		
尾張中部	師勝	4	4	1	1		844	2	31	2,096	175	149	23	101		6	142	29	35	2	31						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,214	51	483	3,911	1,033	527	141	597	3	3	386	254	401	1	65	1	2	48	2		
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	2,061	26	518	1,895	987	573	168	458	9	7	348	137	333		47		3	1	3		6
	江南	6	6	1	2		1,879	61	423	2,552	667	294	123	185	1	5	408	67	332		43						
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,394	34	132	871	436	157	236	220	3	4	129	135	354		15	3	1		3		12
	知多	7	7	2	2		2,423	46	290	1,579	757	476	111	365	6	8	500	227	312	1	35						
西三河南部	岡崎	12	8	2	3	1	3,010	20	521	297	1,320	435	235	738	15	4	595	79	924	1	147						
	衣浦東部	11	11	2	4	1	3,557	14	518	1,654	1,158	254	170	512	7	9	596	213	422	2	30		1	1	3		
	西尾	4	4	1	1	1	300	5	91	853	282	46	34	119		6	254	25	137	1	58		2	11	6		3
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1,501	21	231	1,683	682	313	83	317	13	11	345	158	836	2	70			3	42		
	加茂	3	3		1		372	4	41	549	125	103	25	108			52	44	283								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	3,084	19	740	3,783	711	378	179	490		1	632	76	739	2	118		3		41		
	豊川	9	8	1	2	1	2,810	27	348	2,977	691	353	113	368	2	1	672	102	511	4	5			12	1	1	
東三河北部	新城	2	2			1	137		3	1	68	45	4	13		1	33	8	105								

